

「夫の涙」

その利用者様は、腰痛や膝痛があり、布団からの立ち上がり
がとても大変になってきていました。4ヵ月もの間どうにかこ
うにかご夫婦二人で頑張ってこられたものの、限界を感じ包括
支援センターに相談されたそうです。ベッドではなく布団での
生活を継続したいご希望があるとのことで、布団脇に手すりを
設置する方法を検討することとなりました。

訪問当日、ご主人・包括職員・ケアマネジャーが見守る中、手
すりを使用して布団からの立ち上がり動作を行ってもらいまし
た。動きのコツや体のさばき方をお伝えすると、ゆっくりとで
はありますが自分で立つことができました。

ご本人やケアマネさん達が笑顔で喜ぶ中、ふとご主人を見ると、
部屋の隅の方で、優しい笑顔で涙を流しておられました。ずっ
と、お二人で自営業をなさってこられたご夫婦。何事も二人で
乗り越えてこられたご夫婦でしたが、今回のことで今後のお二
人での生活に対し、とても大きな不安をお持ちだったようです。

先日伺った際は、「重宝してるよ」
とご夫婦揃って笑顔で出迎えて
くれました。ほっとひと安心。

(2019年1月)

